



新レシピ「トマトのごまみそ汁」大好評 大田市場で合同トマト試食宣伝会が開催！

第1回 トマト主産県10県合同試食宣伝会

- 期日：1月10日(木)
- 場所：大田市場 東京青果(株)
- 主催：トマト主産10県連 (JA全農ふくれん、JAグループ佐賀、JA静岡経済連、JA熊本経済連、JA宮崎経済連、JAあいち経済連、JA全農岐阜、JA全農ちば、JA全農いばらき、JA全農とちぎ)
- 内容：トマト新レシピの試食宣伝及び各県トマトの展示とPR

■ トマト主産10県連が合同試食宣伝会を開催！

これから入荷ピークを迎えるトマトの冬春トマトを PR するために、トマト主産 10 県連 (福岡、佐賀、静岡、熊本、宮崎、愛知、岐阜、千葉、茨城、栃木) の JA 全農県本部や経済連が合同で試食宣伝会を開催しました。

H30年都中央トマト入荷量は、1位が熊本県で占有率 23% (H30/H26 入荷量伸長率 113%)、2位が栃木県で占有率 15% (同伸長率 114%) です。3～6位は同伸長率が減少傾向で、7位の群馬県は占有率 5%で同伸長率は 113%と増加傾向です。

H29年トマト農林水産省統計によると、収穫量は1位が熊本県で占有率 17% (H29/H25 収穫量伸長率 108%)、2位が北海道で占有率 9% (同伸長率 104%)、3位が茨城県で占有率 7% (同伸長率 98%)、4位が愛知県で占有率 6% (同伸長率 100%)、5位が千葉県で占有率 5% (同伸長率 83%)、群馬県は 11位で占有率 3% (同伸長率 92%) となっています。

■ トマトの新たなレシピで消費拡大をPR！

今回は、サラダの需要が弱まるこの時期に新たなトマトの食べ方提案として「トマトのごまみそ汁」が試食提供され、レシピが掲載された新たに作られたポスターとともに PR されました。このレシピは、一口サイズに切ったトマトをみそ汁に入れ、ごまと青じそで飾り付けたシンプルな一品で、さらにトマトに含まれるリコピンは調理することで吸収率が良くなると栄養面でも優れたレシピとなっています。「トマトとみそはあうね。」「トマトのみそ汁は初めて食べたけど美味しい。」と市場関係者には大好評で、用意した 300 食分は 20 分程度で終了となる盛況ぶりでした。

冬春トマト各産地は、一部天候不順から着色が鈍い産地がありますが全体的に生育は順調となっており、大玉傾向で着果や着色も良好とのことです。今年度は秋以降の好天や気温高の影響で、各産地潤沢な出荷量となっており、相場は平年を下回っています。年明け以降も状況は変わりますが、各県で協力して販売促進活動を行い、新たなレシピも PR してさらなる消費拡大を図りたいとコメントしていました。



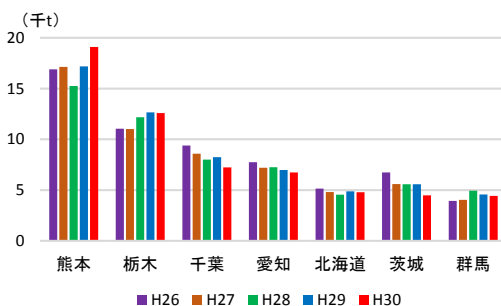
各県のトマトをPR



「トマトのごまみそ汁」のポスター



試食宣伝



都中央トマト入荷量上位7道県 (H26～H30)